

秋田市学校適正配置

北部地域ブロック協議会だより

第20号

検討委員会の協議内容について

地域協議の第1段階である北部地域ブロック協議会で決定した学校の組合せについて、統合の可否を検討するため、統合の時期や校舎の場所などに関する協議を行っております。

第3回土崎中、将軍野中学校統合検討委員会【5月19日（木）開催】

〈議題〉 ■統合に関する検討事項について
統合の時期等について

〈今回の協議で確認した事項〉

★今回の協議内容や教育委員会が示した学校規模シミュレーションを踏まえ、各所属団体に情報共有するとともに、再度、意見集約する。

★次回、統合時期の目安のほか、今後の進め方について、一定の方向性を決定する。

学校規模シミュレーション（推計）

○生徒数の推移

単位：人

	R4	R6	R8	R10	R12	R14	R16
土崎中（生徒数）	405	384	377	405	409	366	346
将軍野中（生徒数）	278	289	290	289	277	256	259
合計	683	673	667	694	686	622	605

○学級数の推移

単位：学級

統合後の学級数	25	23	24	25	22	20	20
---------	----	----	----	----	----	----	----

※「秋田市小・中学校適正配置基本方針」では、学校の適正規模を全校で12～18学級としています。

※現時点で、両校ともに普通教室として利用可能な教室数は24教室です。



〈協議の中で出された主な意見等〉

○現時点では、両校ともに、受け入れ可能な教室数が足りないため、統合時期の目安を令和16年度以降とし、今後の生徒数の推移を確認しながら、年1回程度、協議を継続してはどうか。

○現時点で統合時期を結論づけてしまうと、今後の生徒数の状況の変化に対応できなくなる恐れがあるため、適正規模である18学級となる時期を統合の目安としてはどうか。

○適正規模を超えている状態で統合したとしても、良好な教育環境とはならないので、生徒数の推移を見ながら、統合時期を判断してはどうか。

裏面につづく

第6回土崎小、土崎南小学校統合検討委員会【6月2日（木）開催】

〈議題〉 ■ 統合に関する検討事項について
統合後に使用する校舎について

〈今回の協議で確認した事項〉

★今回の協議内容や教育委員会が示した学校規模シミュレーションを踏まえ、各所属団体で情報共有するとともに、再度、意見集約する。

★次回、各所属団体での意見集約をもとに、統合後に使用する校舎について、引き続き協議する。



〈協議の中で出された主な意見等〉

○通学距離が長くなる児童の負担を考えると、2校の学区の中心地にある土崎小の校舎が良いと思う。

○統合後に使用する校舎について、子どもたちの教育環境を考えると、校舎が新しく、グラウンドも広い土崎南小が良いと思う。

○統合後に使用する校舎は土崎南小が望ましいと思うが、校名については、歴史的背景からも土崎小とするのが良いのではないかと。

○北部地域における今後の地域協議の開催予定

以下の地域協議につきましては、8月以降、順次開催予定です。

- ・第4回土崎中、将軍野中学校統合検討委員会
- ・第7回土崎小、土崎南小学校統合検討委員会
- ・第2回下新城小、金足西小学校統合検討委員会
- ・第3回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会

※詳細の日程については、決まり次第、広報あきた等でお知らせします。



【広報ID:1022183】

●お問い合わせ先●

秋田市教育委員会 学校適正配置推進室

○住所 秋田市山王一丁目1番1号

○電話 018-888-5812

○FAX 018-888-5804

○e-mail ro-edaz@city.akita.lg.jp

【広報ID:1021066】

<https://www.city.akita.lg.jp/kyoikuiinkai/1010626/1021066.html>

※地域協議で提示した資料は、市のホームページで公開しています。

